

「居安思危」vol.2 解答と解説

今回の問題は「クロスロード」という防災ゲームの一部を替えて出題しています。

クロスロード(Crossroad)とは元来、「辻」「十字路」「交差点」の意味でそこから「進退を決すべき岐路」という意味も派生してきました。

この「クロスロード」というゲームは防災・減災に関する取り組みにしばしば見られるジレンマを素材として、二者択一の設問に「YES」または「NO」の判断を下すことを通じて災害を「他人事」ではなく「我が事」として考え、同時に相互に意見を交わすことを目的に作られています。従って、これらの問題には正解がありません。「YES」「NO」のうちどちらか一方が、いつでも、どこでも、どんな場合でも「正解」になることはありません。災害時に起こりうる現象についてジレンマを抱えながらあれこれ考え、しかもいろいろな考え方の人がいる中で、多くの人を受け入れることのできる結論、合意を引き出し、実行に移すための作業をシミュレーションしてやってみるゲームです。

では今回の問題について解説します。

この問題では「YES」と「NO」がかなりばらついた状態に分かれると考えられます。設問を大雑把にしているので、季節や、災害の規模、避難所にいる人の構成、今後の経過の予測など、人それぞれいろいろ考えたことと思います。

「YES」とこたえた人は1人あたりの量が少なくなっても、みんなが少しずつでも食べられる方がよいと考えたり、自分は高校生なので我慢できるのでお年寄りや小さな子どもなど弱い立場の人にあげた方がよいと考えたり、自分だけ食べるのは気が引けると考えたりしたのではないのでしょうか？

逆に「NO」とこたえた人は自分が持っている食料と水は一晩過ごせる程度のものであり、周りの大手前生に声を掛けたとしても1000人もの人たちに分け与えられるほどの量ではなく、特定の人だけに分けることはかえって不公平になると考えたり、一晩我慢すれば翌朝には食料が配給されるのではないかと予想したり、翌日自分が帰宅するときに持っておきたいと考えたりしたのではないのでしょうか？

実際には避難所で食料や水などの救援物資が配付されるのは災害後早くても数時間から数日後になります。しかも情報が正確でないため、人数分が届くということもほぼありません。多かったり、少なかったり、同じものばかりが続けて届くということもあります。そんな中で、避難している人々がある程度満足できるように物資を配付するのは至難の業です。

災害直後は情報が十分ではなく、公的機関自体が被災していて対応できなかつたり、道路が壊れていて流通が困難だつたりで、すぐに救援物資を送ることは非常に困難です。

みなさん一人一人が備えておくことで地域全体の防災力が高まり、「自助」「共助」の力で「公助」が入るまでの間の問題を減らすことができます。

発災直後～発災4日目以降におすすめの非常食の例を下記に載せましたので、ぜひ参考にしてください。

【表1】 **ステップ1** 発災直後に備えて用意しておきたい災害食

	時期	食をとりまく環境	腹の足しになるもの 水や熱が不要で すぐ食べられるもの	飲み物 (500ml)	心の足しになるもの デザート系
ステップ1	発災後 3日間	非常持ち出し袋の中の災害食を 飲食する	ビスケット クラッカー 缶入りパン かゆ缶詰・レトルト 雑炊缶詰・レトルト バランス栄養系食品	飲料水 野菜ジュース缶 お茶缶 缶紅茶 缶コーヒー	ミカン缶詰 缶入りケーキ プリン缶詰 ミックスフルーツ缶詰 一口ようかん

【表2】 **ステップ1以降～3** 発災4日以降のおすすめメニューと食への欲求の変化 (1人分)

	時期	食を取り巻く環境	主食系	魚か肉のおかず系	野菜のおかず系	デザート系
ステップ1～2 までの間	4日～ 約1週間まで	家に置いてある 災害食を飲食する	運よく電気が回復 すればカップ麺6個 アルファ米など6袋 そうでなければ ステップ1を続ける	缶詰 レトルト ※1 12個	缶詰 レトルト ※2 12個	好みのデザートを選 ぶ 1日1個
ステップ2	約1週間後～	電気が回復 電気釜使用可 ご飯とおかずが 食べられる	無洗米など ※3 ※4	缶詰 レトルト カレー 卵丼の素 など	缶詰 レトルト 八宝菜の素 炊き込みご飯の素 のりの缶詰など	おかきの缶詰 干菓子など
ステップ3	約1カ月後～	野菜や新鮮な食べ物 が欲しくなる 店舗が開き始める	乾麺 (スパゲティ、 うどん、そばなど) 無洗米	生野菜 肉 魚が欲しくなる	炊事がしたくなる 調味料 油 マヨネーズ ケチャップ しょうゆ	生菓子が 食べたくなる

※1：肉または魚の缶詰 レトルト：シーチキン、焼き鳥、サバのみそ煮、ソーセージ、イワシのトマト煮

※2：野菜煮缶詰 レトルト：煮豆、切り干し大根、ヒジキの煮物、コーン、五目豆、ポテトサラダ、筑前煮

※3：米は1カ月分ぐらい準備しておくことと長期戦に耐えられる

※4：米を炊くには飲料水の備蓄が欠かせない

©奥田和子

今回考えたことや話し合ったことをぜひ教えてください。直接保健室に話しに来てくれてもいいですし、この用紙の下の解答用紙に記入して保健室前の箱に入れてくれてもかまいません。

今後の防災教育につながる大切な資料となりますのでぜひご協力よろしく願いいたします。

なお、この「クロスロード」の問題は今後の「居安思危」でも時々出題します。その都度いろいろ考えてみてくださいね。

「居安思危」Vol.2 の問題の解答用紙

答 YES / NO

- ◎ あなたはなぜYES/NOを選んだのですか？その理由を書いてください。併せてそれぞれの問題点も書いてください。

よければ名前を書いてください。(嫌な人は書かなくてもOKです。)

年 組 名 前